ChangeVision

テーマ「希望」ボストンの澄んだ空の下で考えたこと（LT編）

2007.10.12

(株)ChangeVision 懸田 剛

ChangeVision

はじめに

- Software Development Best Practice 2007に参加してきました
  - その時の気づきをまとめたものです
- 一部同様の内容をオブラブのメルマガに書きました

初日に食べた
巨大なT-Born
ステーキ

ChangeVision

結論

もっと
日本から
世界へ
発信を！！

ChangeVision

TRICHORDを出展してきました

ChangeVision

SDBP2007とは

- 毎年ボストンで開催されているDDJ主催のイベント
- 組込、ソフトウェア開発、RFIDの複数のイベントのマッシュアップで開催されていた

ChangeVision

SDBPのトラック一覧

- Build & Deploy
- C++
- Design & Architecture
- People, Projects & Teams
- Process & Methods
- Requirements & Analysis
- Testing & Quality
- Web Services / SOA
- Plus a Secure Design mini track

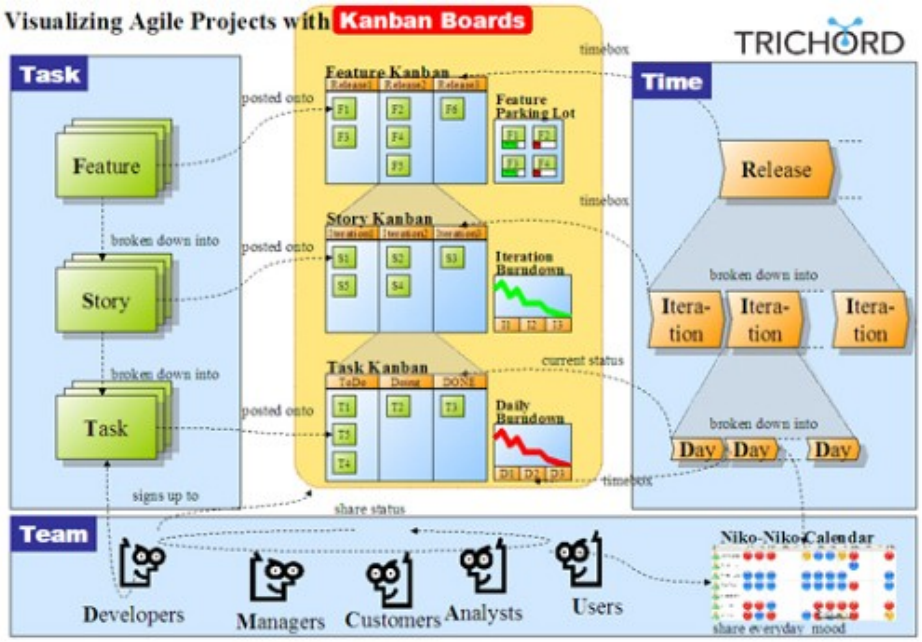
ChangeVision

ブースの様子

ChangeVision

平鍋さんの英語の説明(格好いい)

平鍋さんのWhitePaper



- 今回のSDBP2007に先がけて開催された、Agile2007(2007-08)に向けて作成したTRICHORDのコンセプトとなるソフトウェアかんばんシステムの全貌

ChangeVision

ところで

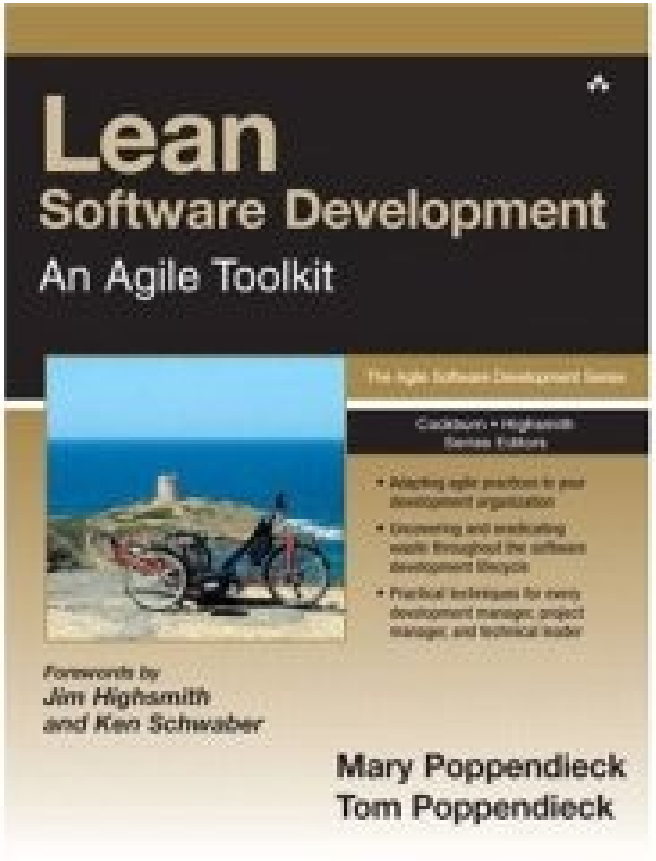
ソフトウェア開発に関して
かんばんというものが
注目されはじめたのは
いつ頃だったかご存知で
すか？

ChangeVision

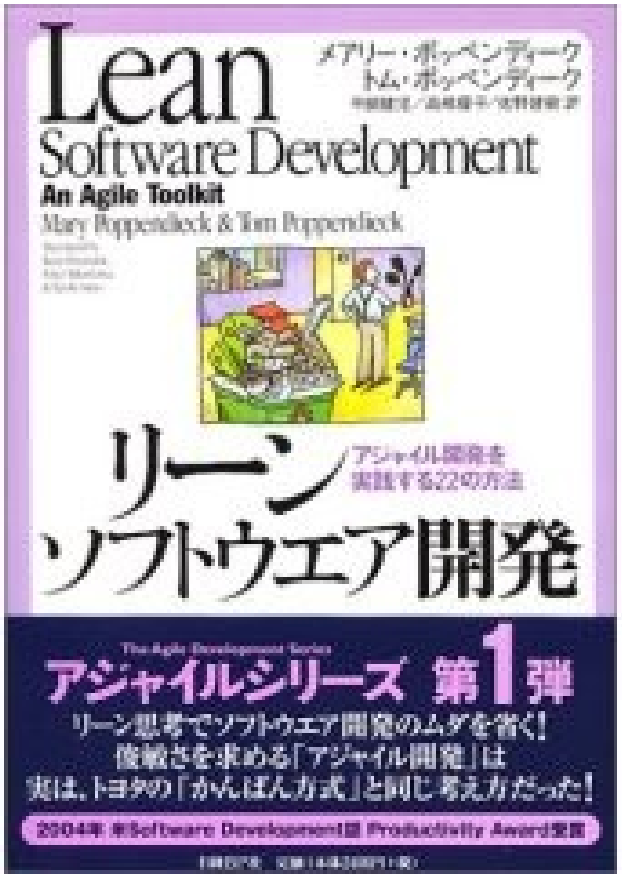
ケースその1

ChangeVision

リーンソフトウェア開発



2003年



2004年

ChangeVision

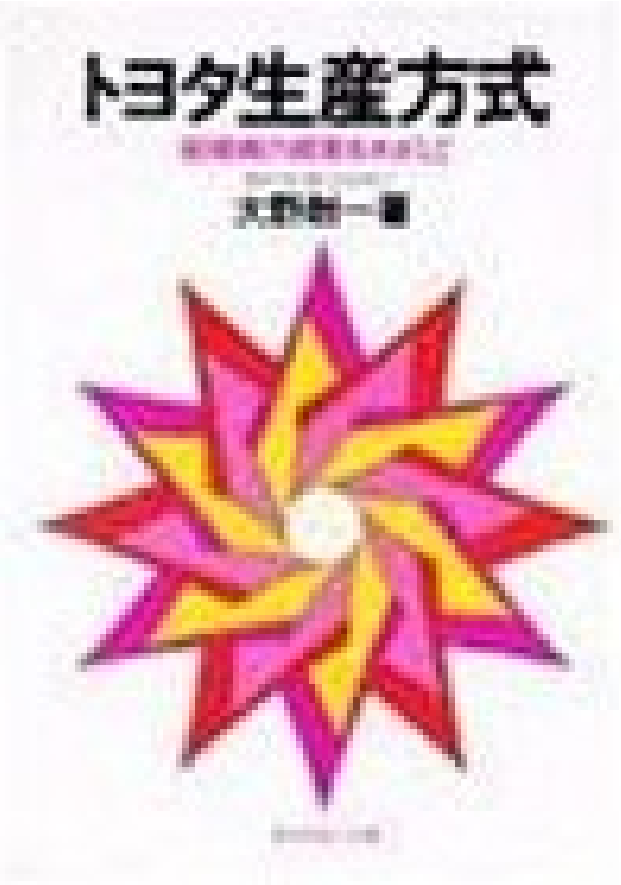
リーンソフトウェア開発

- 平鍋さんが翻訳に関わる
- ソフトウェアかんばんとして日本に広まる
  →PFへ
- リーンソフトウェア以降で、壁にカードを貼って視覚化するプラクティスが紹介されるようになってきたようだ

ChangeVision

では
LSDの元になった
TPS/LPSはいつ頃？

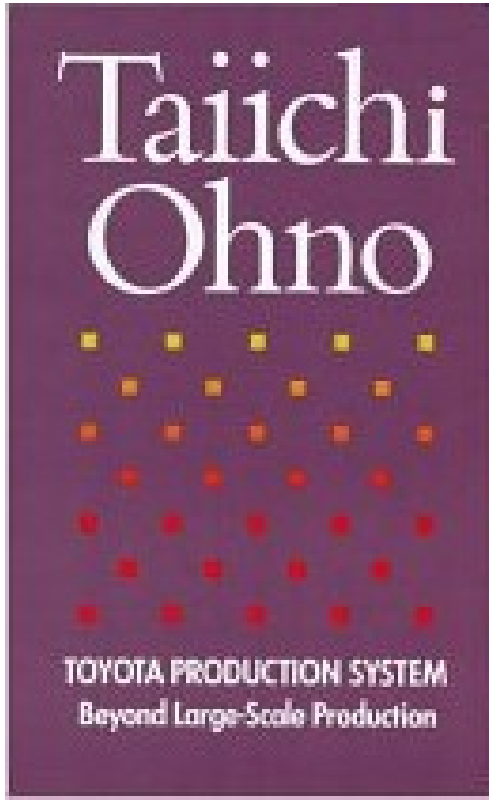
トヨタ生産方式(TPS)とリーン生産方式(LPS)



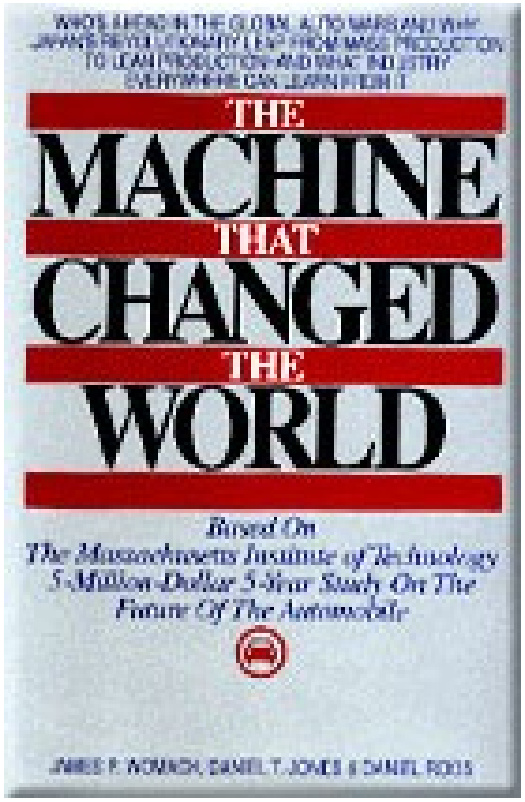
1978年

1990年

アメリカでは…

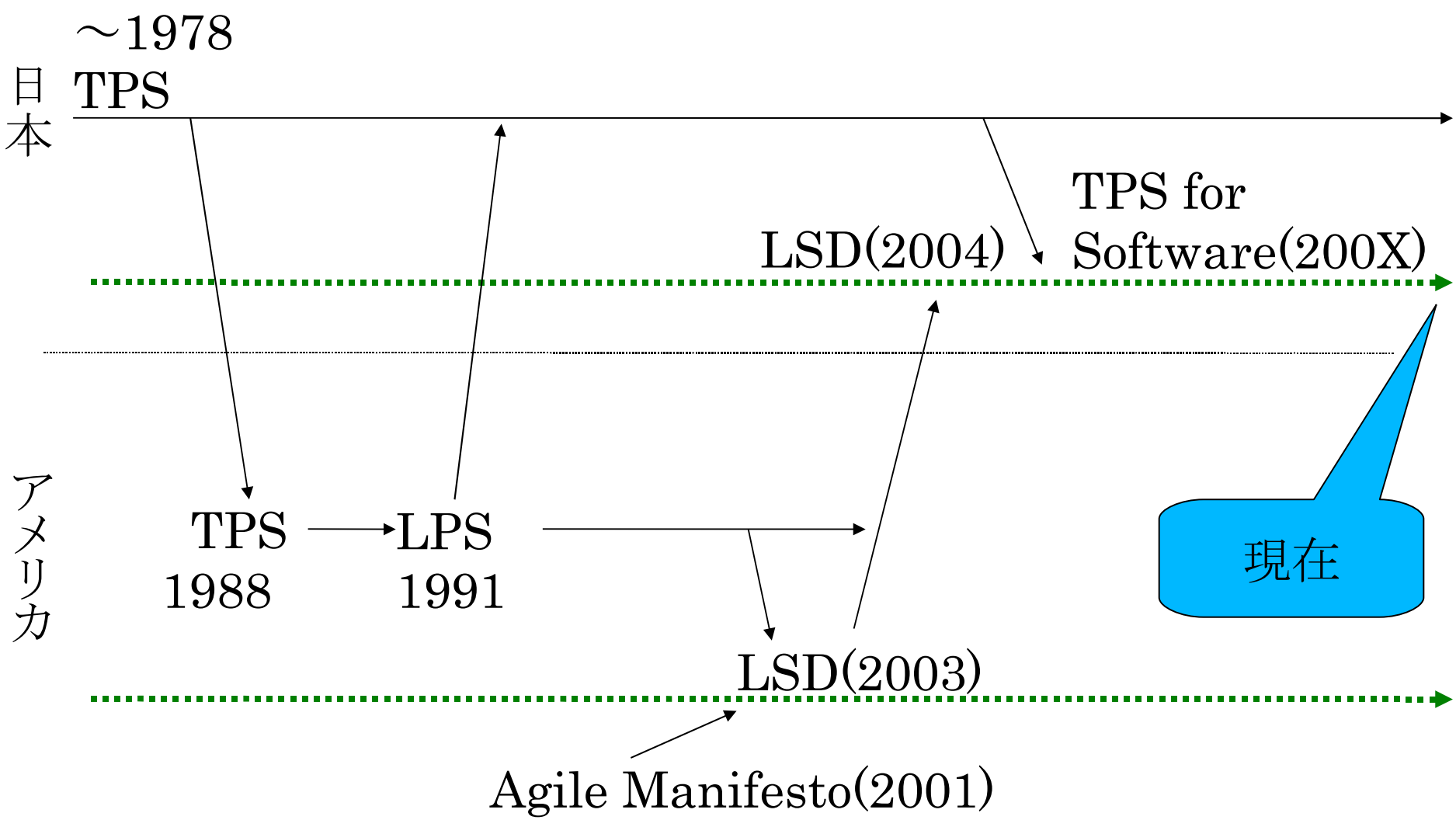


1988年



1991年

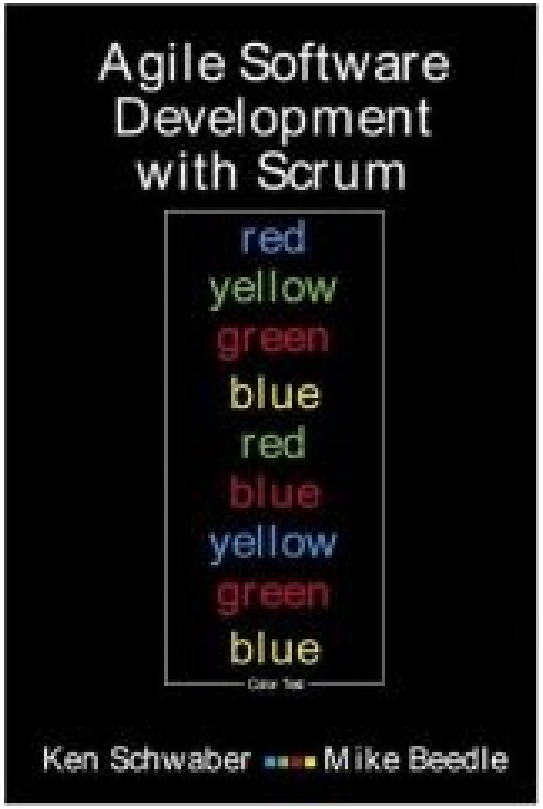
TPS/Leanとソフトウェア開発



ケースその2

ChangeVision

Scrum

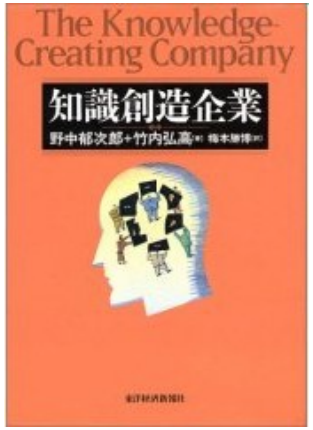


2001年(アメリカ)
2003年(日本)

- アメリカのアジャイルで主流になりつつある管理手法
  - Agile2007, SDBP2007でよく名前を聞いた
- Scrumはラグビーのスクラムをメタファーとして使用している
- 短い期間(1-4week)で優先度の高い製品を外部からの雑音からチームを守って開発していくマネジメント手法
- バーンダウンチャートはScrum由来

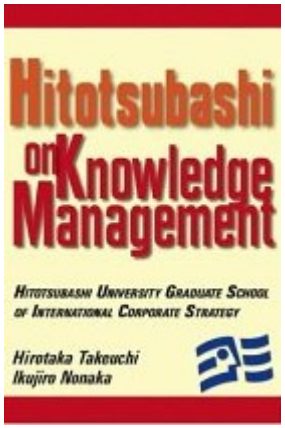
ChangeVision

Scrum Godfathers: Takeuchi and Nonaka



Takeuchi and Nonaka are Godfathers of the Scrum Agile Process since they coined the term in their seminal paper in the Harvard Business Review in 1986:

Takeuchi, H. and I. Nonaka, **The New New Product Development Game**. Harvard Business Review, **1986**(January-February).



Their thinking has been updated and extended in a new book that will be useful reading for ScrumMasters. The concepts from the 1986 Harvard Business Review paper are there along with a lot more useful information. Highly recommended.

http://jeffsutherland.com/2005/03/scrum-godfathers-takeuchi-and-nonaka.html

ChangeVision

2つのケースから学べることは？

- 日本→アメリカ→日本の逆輸入モデル
- 日本ではソフトウェア開発において製造、製品開発におけるノウハウから断絶されていた(のかな…)
- アメリカのソフトウェア開発ではソフトウェア開発以外から貪欲に智恵を吸収しようと試みている
- もしかすると、日本でもそれまでの花形産業から学んだものが多くあったのかもしれない…国内だけで完結？

ChangeVision

これから重要になると考えること

- ソフトウェア以外の業界から貪欲に吸収する姿勢が必要ではないか
- 日本からもっと世界に発信するべき
  - 実践、体系化、その他…
  - 海外からの翻訳に頼る姿勢は終りにしたい
- 海外のイベントに参加、発表する人がもっと増えるべき
  - 平鍋さんがAgile2007でセッションを担当したように
- **TPSのソフトウェア適用の実践は是非日本から世界に発信しなければならない**

想像してください…

- 皆さんの改善活動の発表が
- 海外のイベントで発表し喝采を浴びる姿を…

ChangeVision

結論

もっと
日本から
世界へ
発信を！！